

## 事業群評価調書(平成29年度実施)

基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	事業群主管所属	文化観光国際部文化振興課
施策名	(2) 本県ならではのソフトパワーの活用・発信	課(室)長名	本多 敏博
事業群名	世界に通用する長崎県の歴史文化の活用と発信	事業群関係課(室)	地域づくり推進課、国際課、建設企画課

### 1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文) 長崎の地域学や日本遺産、本県とつながりの深い偉人たちなどを素材に、それらが結び合わさって相乗効果を生み、新たな資源として活用できるよう取り組みます。						(取組項目) )長崎の歴史研究の推進と活用、日本遺産認定への取組と活用、長崎の地域学や地域資源、日本遺産等を通じた長崎固有の歴史・文化の県内外への発信・活用 )長崎ゆかりの偉人のさらなる顕彰や、中国、オランダとの交易の歴史などの切れ目ない情報発信による認知度向上と海外との交流拡大
指 標		最終目標(H32)	目標(H28)	実績(H28)	達成率	(進捗状況の分析) 平成27年度に文化庁が地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを認定する「日本遺産」を創設し、全国から申請された83件の中から18件が第1号として認定され、本県から申請した「国境の島 壱岐・対馬・五島 ~ 古代からの架け橋~」も認定された。また平成28年度においては、全国から申請された67件の中から19件が認定され、本県から申請した「日本磁器のふるさと 肥前 ~ 百花繚乱のやきもの散歩~」と「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ~ 日本近代化の躍動を体感できるまち~」の2件が認定された。継続して本県の特異な歴史・文化の調査・研究に取組んでいることが、早期の目標達成に繋がった。
事業群	日本遺産認定数(累計)	3箇所	1箇所	3箇所	300%	
その他の	関連指標					

### 2. 28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業対象	事業概要 28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				28年度事業の成果等	中核事業	
			H28実績	一般財源	人件費(参考)			指標	主な目標	H28目標	H28実績			達成率
			H29計画	一般財源	人件費(参考)					H29目標				
取組項目	究める・つなげる「長崎の歴史」魅力発信事業費 文化振興課	H27-29	12,415	12,415	32,168	研究者、県民及び観光客	本県の特徴ある歴史文化の研究への助成、県内に所在するミュージアムの活性化と施設間の連携、日本遺産認定の推進を実施。	活動指標	H28: 日本遺産に申請した件数(件) H29: 日本遺産のPR活動件数(件)	1 30	3	300%	平成27年度の第1号認定に続き、本県から申請した「日本磁器のふるさと 肥前 ~ 百花繚乱のやきもの散歩~」と「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ~ 日本近代化の躍動を体感できるまち~」の2件が認定された。	
			13,473	13,473	32,296			成果指標	H28: 日本遺産に認定された件数(件) H29: 日本遺産の認知度(%)	1 30	2	200%		
	振興局活動推進費 (県北プロジェクト) 地域づくり推進課	H28-	42,588	0	14,476	関係市町、各市町商工・観光関係団体、業界関係団体など	佐賀県及び関係自治体、団体等と連携し、地域共有の資源である「やきもの」を中心に地域の魅力等を広く発信し、誘客に向けた周遊対策などに取り組んだ。	活動指標	肥前窯業圏活性化のための協議開催回数(回)	6 10	18	300%	「肥前窯業圏」のPR等を実施することにより、肥前窯業圏の認知度向上(40% [H28.5] 60% [H29.1])や、陶磁器関係施設の入館者や売上の増加、さらには民間企業等での独自の取組にもつながった。	
			8,000	4,000	14,533			成果指標	新たな肥前窯業圏活性化事業構築数(件)	5 3	5	100%		
	土木遺産利活用検討事業費 建設企画課	H28-29	1,000	0	2,420	観光客	県内に数多く存在する土木施設を観光資源の一つとして活用するため、世界遺産や日本遺産などと連携した新たな観光周遊ルートの創設のための調査・検討を実施。	活動指標	県内土木遺産の調査(地域)	2 2	2	100%	業務を委託した長崎大学による土木遺産の調査・発掘(長崎、佐世保の2地区)により、新たな観光周遊ルートの提案がなされた。また、モニターツアー実施後に行われた参加者へのアンケート調査の結果等に基づき、今後、土木遺産を観光資源として活用するに当たっての課題が整理された。	
			800	800	1,615			成果指標	新たな観光周遊ルートの提案(件)	2 2	2	100%		

取組項目	「孫文・梅屋庄吉と長崎」発信事業費	H22-29	5,404	5,404	16,084	長崎ゆかりの偉人・梅屋庄吉の功績及び長崎と中国との友好交流の歴史を広く周知するための各種事業を実施し、本県の国際交流や地域振興の推進を図った。	活動指標	若年者向けの講演会等の開催回数(回)	3	3	100%	長崎歴史文化博物館において、上海政治協商委員会と「孫文生誕150周年記念写真展」を行った。また、梅屋庄吉読書感想文コンクールや県内の3つの高校で小坂文乃氏(梅屋庄吉の曾孫)の講演会を開催し、国際的な視野を持つ若者の育成に寄与した。認知度は目標には届かなかったものの、読書感想文の応募数が前年度を大幅に上回るなど、小中学生を中心に認知度が高まりつつあることを実感できた。
			7,325	7,325	16,148		成果指標	梅屋庄吉の県内認知度(%)	80	75	93%	
	文化振興課								80			
	中国プロジェクト重点推進事業費	(H28終了) H26-28	8,174	8,174	7,237	・孫文、鄭成功、隠元など長崎ゆかりの偉人をテーマとした事業を実施した。( 在日華僑華人団体と連携したシンポジウムの開催:東京、長崎ゆかりの中国の偉人と長崎とのエピソードなどを紹介する小冊子を作成) ・急速な高齢化が見込まれている中国について、高齢者産業分野における海外展開に関心を有する企業等を対象に、JETRO長崎貿易センターとの共催で、中国高齢者ビジネスの現状や課題、参入事例等の紹介をする「中国高齢者ビジネスセミナー」を実施した。	活動指標	イベントの開催回数(回)	1	1	100%	・シンポジウムを日本華人教授会議との共催により開催し、在日華僑華人団体の協力を得たことで、世界中にネットワークを持つ華僑にアピールすることができた。また、このシンポジウムが華僑華人との人脈構築に繋がりを、偉人の冊子作成においても中国人読者の興味・関心が高まるような中国側の視点を取り入れるなど、助言・協力を得ることができた。
							成果指標	長崎に関心を持つようになった来場者の割合(%)	80	98	122%	
	国際課											
中国プロジェクト推進事業費	(H29新規) H29-31	2,607	2,607	7,266	・県内企業の高齢者ビジネス中国展開の足がかりのため、民間ベースの事業連携を支援する。 ・在日華僑華人との人脈構築や連携を図りながら、長崎ゆかりの偉人を活用した情報発信と交流拡大を図る。 ・伝統芸能公演の県内での開催を機に日中青少年交流の場を設け相互理解を促進する。	活動指標	イベントの開催回数(回)	3				
						成果指標	イベント参加者数(人)	150				
国際課												

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

- ) 長崎の歴史研究の推進と活用、日本遺産認定への取組と活用、長崎の地域学や地域資源、日本遺産等を通じた長崎 固有の歴史・文化の県内外への発信・活用
- ・ 本県の歴史文化を対象とした調査・研究に対して助成を行う「学術文化研究費補助金」を平成27年度に創設し、平成28年度は7件の助成を行った。本県の特色ある歴史文化は、研究者の調査・研究の対象となっており、その基準を国際的レベルに引き上げ、その成果を効果的に情報発信することが、更なる「日本遺産」の認定等に繋がりが、地域振興のための新たな資源となる。
  - ・ 平成27年度に文化庁が創設した「日本遺産」は、昨年度の第1号認定に続いて、平成28年度は2件が認定された。日本遺産の目的である地域振興に繋がるように情報発信、ガイドの通訳育成、講演会等を継続して行っているが、更に戦略的な情報発信を行うとともに、観光関係者等と連携して交流人口の拡大に繋げていく必要がある。

- ) 長崎ゆかりの偉人のさらなる顕彰や、中国、オランダとの交易の歴史などの切れ目ない情報発信による認知度向上と海外との交流拡大
- ・ 中国の革命家孫文を物心両面から支えた本県出身の梅屋庄吉の功績を顕在化し、情報発信、海外との交流拡大のために、長崎歴史文化博物館において、上海政治協商委員会と「孫文生誕150周年記念写真展」を行った。また、梅屋庄吉読書感想文コンクールや県内の3つの高校で小坂文乃氏(梅屋庄吉の曾孫)の講演会を開催し、国際的な視野を持つ若者の育成に寄与したほか、高率な認知度を維持した。梅屋庄吉の生誕150周年を機に、記念イベントの開催等による情報発信の強化、さらなる中国との交流文化の拡大を図っていく必要がある。

#### 4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目	究める・つなげる「長崎の歴史」魅力発信事業	観光所管課や商工団体と連携し、日本遺産を活用しての旅行商品作りを旅行会社へ働きかけ等を行い、本県への誘客を行っていく。	、	平成29年度に引き続き、観光所管課や商工団体と連携し、日本遺産を活用しての旅行商品作りを旅行会社へ働きかけ等を行い、本県への誘客を行っていく。 商工団体等と連携して、日本遺産のブランドを活かした地域特産品の販売促進等に繋げていき、この事業を終了する。	終了
	振興局活動推進費 (県北プロジェクト)	肥前窯業圏の更なる認知度向上や誘客に向けた情報発信、魅力あるイベントの開催等に取り組むとともに、地域主体(市町)の継続的な取組となるよう地域間連携を強化していく。	、	成果・実績の検証により、改善すべき点を洗い出し、さらなる誘客促進や政策間連携を行うなど、より成果に結びつく取組となるよう、佐賀県及び関係自治体、関係団体との連携や情報共有を十分に図りながら取組を推進していく。	改善
	土木遺産利活用検討事業費	旅行商品化に向けた基礎素材の作成、市町との取り組み推進、対象地域を追加するなど取り組みを強化した。		土木遺産の認知度向上のための広報強化やガイドブックの作成・発行、土木遺産の魅力を十分に感じてもらうための案内ガイドの養成を行うなどツアーの質の向上のための取り組みを行う。	改善
取組項目	「孫文・梅屋庄吉と長崎」発信事業費	・H30年度の写真館跡への案内板の設置に向けて、梅屋庄吉が撮影した古写真およびそのデータを収集し、分析。 ・H30年度の梅屋庄吉生誕150周年記念事業の実施に向けて、新規資料の調査を実施。	、	本事業は、一定の効果を果たしたとして一旦終了するが、平成30年度においても、香港梅屋庄吉写真館跡の案内板の設置や梅屋庄吉生誕150周年記念企画展を開催するなど、引き続き日中における情報発信事業を実施していく。	終了
	中国プロジェクト推進事業費	「H29新規」 ・H28年度事業で構築した在日華僑華人ネットワークを活用し、関係団体と連携した事業(中華伝統芸能団の招致、世界海外華僑華人学会等と連携したシンポジウムの開催)を実施する。 ・中国から高齢者産業関連企業を招聘し、県内の事業者と直接意見交換できる場を設けることで、民間ベースの事業連携を支援する。		引き続き、在日華僑華人等との人脈構築や連携を図りながら、長崎県と中国とのゆかりを活かした情報発信を行うとともに、日中両国の交流促進や信頼関係強化に繋がる取組を実施する。	改善